



政府統計

# 平成30年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（概要）

平成31年3月

内閣府

調査概要	2
概要1 青少年のインターネットの利用状況 - 1 (インターネット利用率)	4
概要2 青少年のインターネットの利用状況 - 2 (機器の専用・共用)	6
概要3 青少年のインターネットの利用状況 - 3 (利用内容)	7
概要4 青少年のインターネットの利用状況 - 4 (利用時間)	8
概要5 低年齢層の子供のインターネットの利用状況 - 1 (インターネット利用率)	9
概要6 低年齢層の子供のインターネットの利用状況 - 2 (機器の専用・共用)	10
概要7 低年齢層の子供のインターネットの利用状況 - 3 (利用内容)	11
概要8 低年齢層の子供のインターネットの利用状況 - 4 (利用時間)	12
概要9 年齢別のインターネットの利用状況 - 1 (インターネット利用率)	13
概要10 年齢別のインターネットの利用状況 - 2 (機器の専用・共用)	14
概要11 年齢別のインターネットの利用状況 - 3 (利用内容)	15
概要12 年齢別のインターネットの利用状況 - 4 (利用時間)	16
概要13 インターネット利用に関する家庭のルールの有無	17
概要14 子供のインターネット利用に関する保護者の取組 - 1 (青少年の保護者)	18
概要15 子供のインターネット利用に関する保護者の取組 - 2 (低年齢層の子供の保護者)	20
概要16 インターネットに関する啓発や学習の経験 - 1 (青少年)	21
概要17 インターネットに関する啓発や学習の経験 - 2 (低年齢層の子供)	22
概要18 インターネットに関する啓発や学習の経験 - 3 (保護者)	23
概要19 フィルタリングの認知 (保護者)	24

# 調査概要（１）

## １．調査目的

平成21年度～平成29年度に引き続き、「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」（いわゆる「青少年インターネット環境整備法」。平成21年4月1日施行。）の施行状況のフォローアップのための基礎データを得ることを目的として実施。

## ２．調査設計

(1)調査方法・対象：下記3種の調査につき、それぞれの対象者に対し、それぞれの調査票を用いて調査を行い、回収結果は以下のとおりであった。

	青少年調査	保護者調査	低年齢層調査
調査対象	満10歳から満17歳の青少年(5,000人)	左記青少年と同居する保護者(5,000人)	0歳から満9歳の子供と同居する保護者(3,000人)
調査方法	原則として、調査員による個別面接聴取法で調査を実施。ただし、調査協力を得られたものの訪問時間等が合わない場合には、WEB調査法を併用。	原則として、調査員による訪問配布訪問回収法で調査を実施。ただし、調査協力を得られたものの訪問時間等が合わない場合には、WEB調査法及び郵送回収法を併用。	
回収結果	3,079人(61.6%) ・個別面接聴取法 3,006人(60.1%) ・WEB調査法 73人(1.5%)	3,445人(68.9%) ・訪問配布訪問回収法 3,385人(67.7%) ・WEB調査法 21人(0.4%) ・郵送回収法 39人(0.8%)	2,274人(75.8%) ・訪問配布訪問回収法 2,229人(74.3%) ・WEB調査法 4人(0.1%) ・郵送回収法 41人(1.4%)

(2)調査内容：各調査の対象者に対し、下記15機器によるインターネット利用状況等について調査。

スマートフォン、いわゆる格安スマートフォン、機能限定スマートフォンや子供向けスマートフォン（以下「子供向けスマートフォン」という。）、契約期間が切れたスマートフォン（以下「契約切れスマートフォン」という）、携帯電話、機能限定携帯電話や子供向け携帯電話（以下「子供向け携帯電話」という。）、ノートパソコン、デスクトップパソコン、タブレット、学習用タブレット、子供向け娯楽用タブレット、携帯音楽プレイヤー、携帯ゲーム機、据置型ゲーム機、インターネット接続テレビ。

(3)期 間：平成30年11月8日（木）～12月9日（日）

# 調査概要（２）

## ３．企画分析会議

有識者( 五十音順)	生 田 倫 子 (神奈川県立保健福祉大学 准教授)
	国 分 明 男 (一般財団法人インターネット協会 副理事長)
	小 城 英 子 (聖心女子大学 准教授)
	西 田 光 昭 (柏市教育委員会 教育専門アドバイザー)
	藤 川 大 祐 (千葉大学教育学部 教授)

## ４．備考

### (用語の定義)

- 満10歳から満17歳を「青少年」、その保護者を「青少年の保護者」、0歳から満9歳を「低年齢層の子供」、その保護者を「低年齢層の子供の保護者」と表記する。「保護者」と表記する場合には0歳から満17歳までの子供の保護者を指す。
- 元号表記は全て「年度」を指す。
- 「低年齢調査」とは平成29年1月に実施した「低年齢層の子供のインターネット利用環境実態調査」を指す。
- 統計表等に用いた符号のうち、「－」は回答者がいないものを指す。(表章単位に満たないが回答者がいる場合は「0.0」とする。)

### (本資料を読む際の注意点)

- 調査結果は、四捨五入しているため、内訳の合計値が計に一致しない場合がある。
  - 本調査では在学中ではない人も含むため、青少年調査では「小学生」、「中学生」、「高校生」の合計値が「総数」に一致しない。また、保護者調査では「小学生の保護者」、「中学生の保護者」、「高校生の保護者」の合計値が「総数」に一致しない。
  - 分析軸の該当者が50人未満のクロス集計については、標本誤差が大きくなるため、あくまで参考にとどめるなど、特に留意が必要。
  - 青少年調査の結果は、「調査員による個別面接聴取法」及び「WEB調査法」を合算し、保護者調査及び低年齢層調査の結果は、「調査員による訪問配布訪問回収法」、「WEB調査法」及び「郵送回収法」を合算したもの。
- なお、前記回答方法の相違により調査結果への影響が発生した可能性がある事項については、回答方法ごとの内訳を、別途内閣府ホームページに公表。

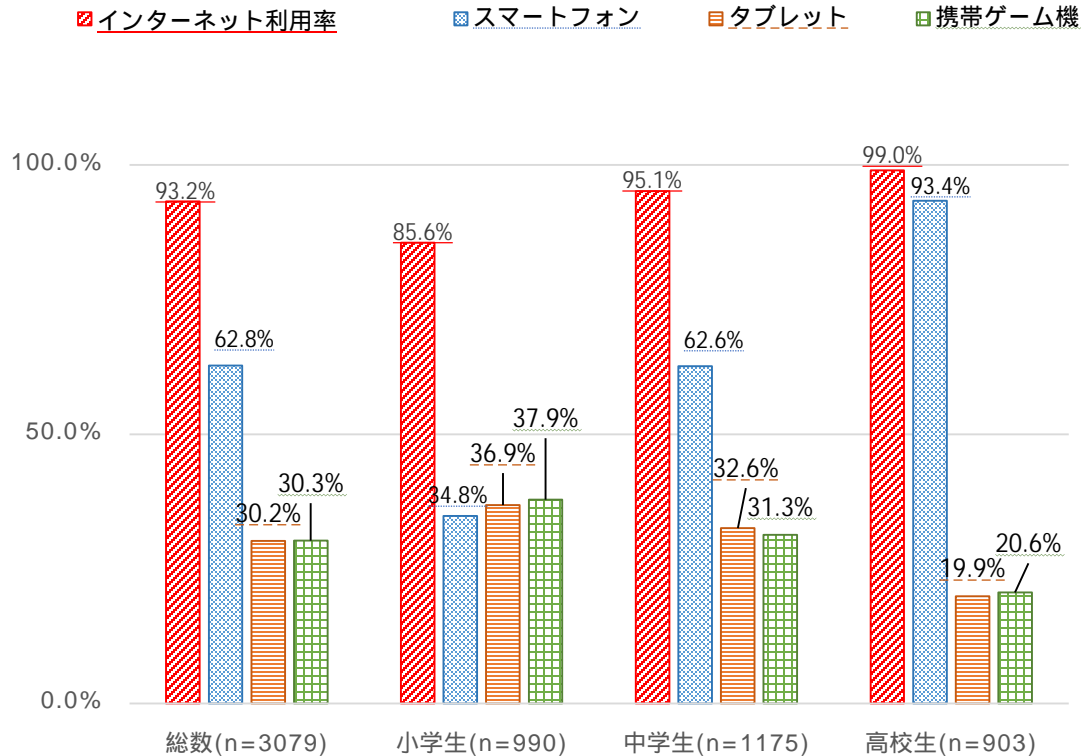
# 概要 1 青少年のインターネットの利用状況 - 1 (インターネット利用率)

青少年の93.2%が、インターネットを利用していると回答。

インターネットを利用する機器は、スマートフォン (62.8%)、携帯ゲーム機 (30.3%)、タブレット (30.2%) が上位。

学校種別でみると、高校生の99.0%がインターネットを利用していると回答。

## インターネット利用率 (機器・学校種別)



## ○インターネットを利用している機器 (n=3079)

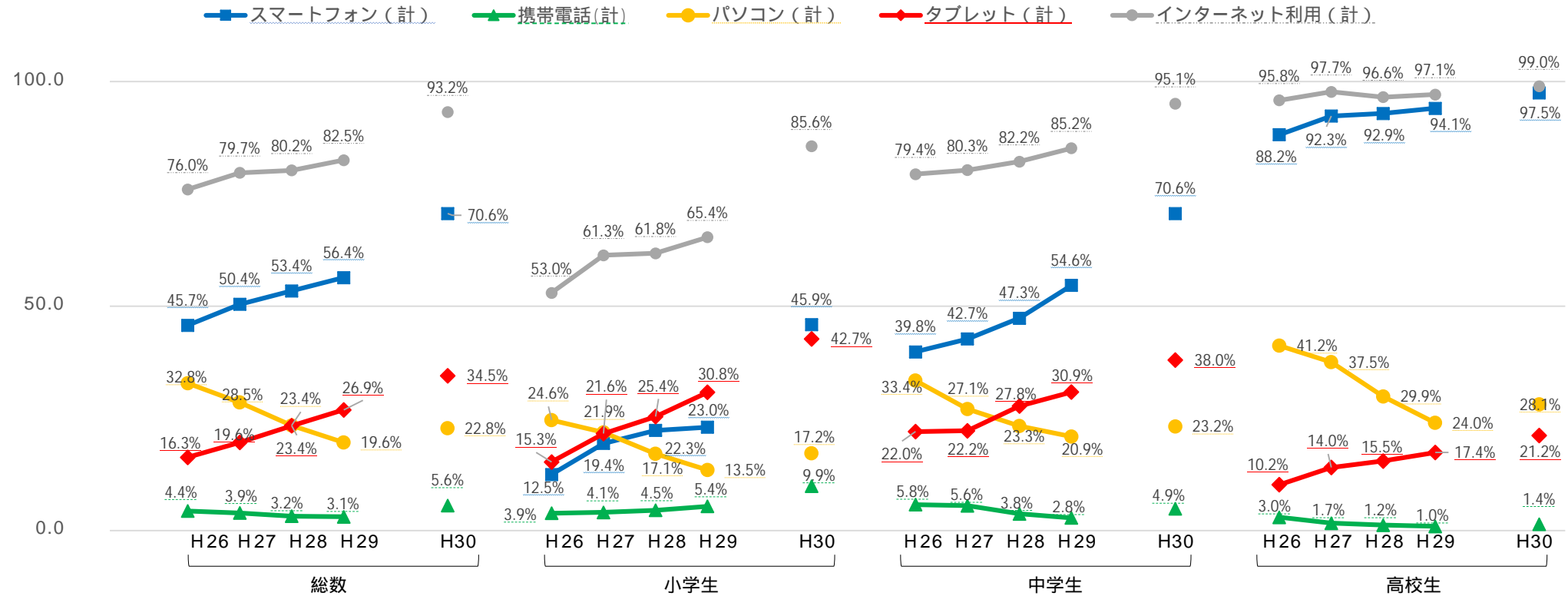
スマートフォン	62.8%
格安スマートフォン	3.4%
子供向けスマートフォン	2.0%
契約切れスマートフォン	5.9%
携帯電話	2.1%
子供向け携帯電話	3.4%
ノートパソコン	17.1%
デスクトップパソコン	6.6%
タブレット	30.2%
学習用タブレット	6.5%
子供向け娯楽用タブレット	0.2%
携帯音楽プレイヤー	7.7%
携帯ゲーム機	30.3%
据置型ゲーム機	11.9%
インターネット接続テレビ	4.6%

(注) 「インターネット利用率」及び「インターネットを利用している機器」は、回答した青少年全員をベースに集計。

(青少年 Q1 - 1、Q1 - 2)

# 参考資料1 青少年のインターネット利用率の経年比較

## 青少年の機器ごとのインターネット利用状況（平成26年度から平成30年度）



(注1) 回答した青少年全員をベースに集計。回答数は以下のとおり。

平成30年度：総数(n=3079) 小学生(n=990) 中学生(n=1175) 高校生(n=903)  
 平成28年度：総数(n=3284) 小学生(n=1012) 中学生(n=1279) 高校生(n=987)  
 平成26年度：総数(n=3441) 小学生(n=1080) 中学生(n=1329) 高校生(n=1007)

平成29年度：総数(n=3288) 小学生(n=1016) 中学生(n=1309) 高校生(n=942)  
 平成27年度：総数(n=3442) 小学生(n=1060) 中学生(n=1349) 高校生(n=1018)

(注2) 「スマートフォン(計)」は、「スマートフォン」、「いわゆる格安スマートフォン」、「子供向けスマートフォン」、「契約切れスマートフォン(平成26年度から平成29年度までは、携帯電話の契約が切れたスマートフォン)」のいずれかを利用すると回答した青少年。「携帯電話(計)」は、「携帯電話」、「子供向け携帯電話」のいずれかを利用すると回答した青少年。「パソコン(計)」は、「ノートパソコン」、「デスクトップパソコン」のいずれかを利用すると回答した青少年。「タブレット(計)」は、「タブレット」、「学習用タブレット」、「子供向け娯楽用タブレット」のいずれかを利用すると回答した青少年。

(注3) インターネット利用率についての質問形式は、平成26年度から平成29年度までは「青少年に調査した15機器のうち、いずれかの機器でのインターネット利用の有無」を問う設問であり、平成30年度の「インターネット利用の有無」を問う設問と相違があるため、平成29年度までの調査結果とは直接比較できない。

(青少年)

## 概要2 青少年のインターネットの利用状況 - 2 (機器の専用・共用)

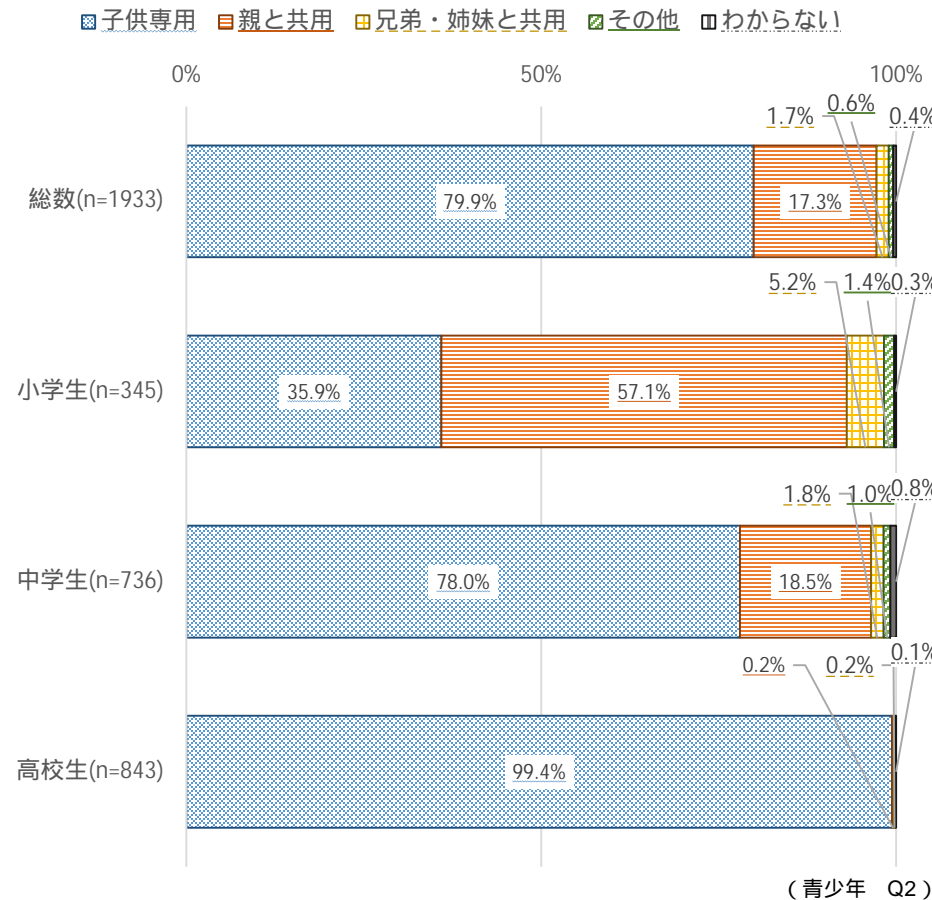
インターネットを利用すると回答した青少年は、学習用タブレット(91.0%)、携帯音楽プレイヤー(87.7%)、子供向けスマートフォン(80.6%)で、子供専用の機器を利用している割合が高い。  
スマートフォンでは、学校種が上がると子供専用の割合が高くなり、高校生では99.4%が子供専用と回答。

### ○青少年の各機器の専用・共用 (平成30年度) 【平成30年度新規設問】

	子供専用	親と共用	兄弟・姉妹と共用	その他	わからない
スマートフォン(n=1933)	79.9%	17.3%	1.7%	0.6%	0.4%
格安スマートフォン(n=104)	77.9%	12.5%	4.8%	1.0%	3.8%
子供向けスマートフォン(n=62)	80.6%	6.5%	8.1%	—	4.8%
契約切れスマートフォン(n=183)	68.9%	14.2%	13.1%	1.6%	2.2%
携帯電話(n=66)	74.2%	10.6%	10.6%	3.0%	1.5%
子供向け携帯電話(n=105)	77.1%	3.8%	15.2%	1.0%	2.9%
ノートパソコン(n=527)	19.0%	72.3%	5.3%	2.5%	0.9%
デスクトップパソコン(n=203)	16.3%	66.5%	7.4%	7.9%	2.0%
タブレット(n=930)	31.0%	47.7%	15.4%	3.9%	2.0%
学習用タブレット(n=201)	91.0%	1.0%	3.0%	2.0%	3.0%
子供向け娯楽用タブレット(n=6)	66.7%	—	16.7%	—	16.7%
携帯音楽プレイヤー(n=236)	87.7%	4.7%	5.5%	—	2.1%
携帯ゲーム機(n=932)	72.1%	6.0%	18.9%	0.4%	2.6%
据置型ゲーム機(n=365)	43.0%	18.9%	35.9%	1.1%	1.1%
インターネット接続テレビ(n=143)	6.3%	70.6%	15.4%	6.3%	1.4%

(注) インターネットを利用すると回答した青少年をベースに集計。

### 機器の専用率 (学校種別・スマートフォン/平成30年度)



7

# 概要3 青少年のインターネットの利用状況 - 3 (利用内容)

インターネットを利用すると回答した青少年の利用内容の内訳は、  
 高校生ではコミュニケーション(89.7%)、動画視聴(87.4%)、音楽視聴(80.6%)が上位。本年度新たに追加した選択肢である勉強等(注3)は48.4%。  
 中学生では動画視聴(80.9%)、ゲーム(74.1%)、コミュニケーション(68.2%)が上位。勉強等は36.0%。  
 小学生ではゲーム(81.5%)、動画視聴(66.1%)が上位。勉強等は28.0%。

## ○青少年のインターネットの利用内容(いずれかの機器、スマートフォン/平成30年度)

		コミュニケーション	ニュース	情報検索	地図・ナビゲーション	音楽視聴	動画視聴	電子書籍	ゲーム	シヨッピング・オクシヨニング	勉強・学習・知育アプリやサービス	その他
いずれかの機器	総数 (n=2870)	65.5%	27.0%	52.2%	24.6%	59.5%	78.6%	11.5%	76.4%	13.1%	37.6%	4.1%
	小学生 (n=847)	36.0%	8.4%	31.9%	5.0%	32.5%	66.1%	4.5%	81.5%	2.8%	28.0%	4.5%
	中学生 (n=1118)	68.2%	26.7%	53.3%	22.4%	62.8%	80.9%	11.5%	74.1%	8.1%	36.0%	3.3%
	高校生 (n=894)	89.7%	44.9%	69.7%	46.0%	80.6%	87.4%	18.0%	74.6%	28.9%	48.4%	4.5%
スマートフォン	総数 (n=1933)	75.0%	30.6%	55.7%	30.7%	65.0%	77.1%	12.0%	70.5%	14.8%	33.3%	1.9%
	小学生 (n=345)	35.4%	8.7%	33.0%	6.4%	35.1%	62.0%	1.4%	76.2%	1.7%	16.5%	2.0%
	中学生 (n=736)	76.2%	26.1%	53.5%	24.9%	63.2%	74.9%	11.0%	66.7%	6.8%	26.6%	2.0%
	高校生 (n=843)	89.9%	43.2%	66.7%	45.7%	78.8%	85.2%	17.0%	71.5%	26.7%	45.8%	1.5%

## インターネット利用内容の経年比較 (いずれかの機器/平成28年度から平成30年度)

利用内容	平成28年度 (n=2635)	平成29年度 (n=2713)	平成30年度 (n=2870)
コミュニケーション	67.4%	68.2%	65.5%
ニュース	31.2%	31.7%	27.0%
情報検索	61.0%	61.9%	52.2%
地図・ナビゲーション	29.6%	30.1%	24.6%
音楽視聴	61.8%	63.7%	59.5%
動画視聴	77.7%	78.6%	74.5%
電子書籍	11.5%	12.9%	14.4%
ゲーム	74.0%	74.9%	76.4%
シヨッピング・オクシヨニング	13.1%	13.2%	13.7%
勉強・学習・知育アプリやサービス	ナシ	ナシ	48.4%
その他	7.5%	7.6%	4.1%
わからない	2.7%	2.4%	0.3%

平成28・29年度は選択肢なし

(注1) 「いずれかの機器」とは、青少年に対して調査した15機器のうち、いずれかの機器でインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

(注2) 「スマートフォン」とは、スマートフォンでインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

(注3) 「勉強等」とは、選択肢のうち「勉強・学習・知育アプリやサービス」(平成30年度新規追加)を意味する。

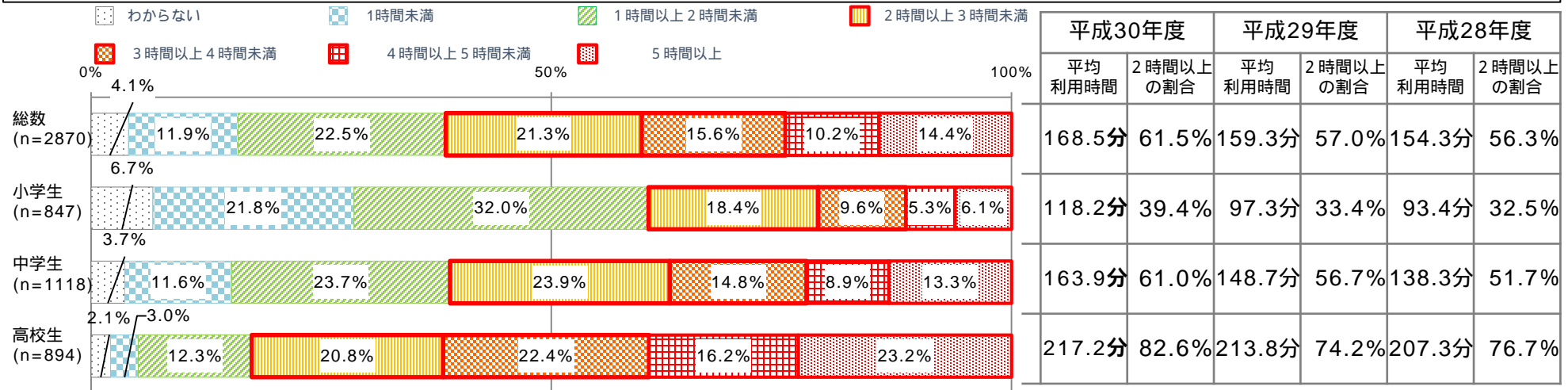
(青少年 Q3)



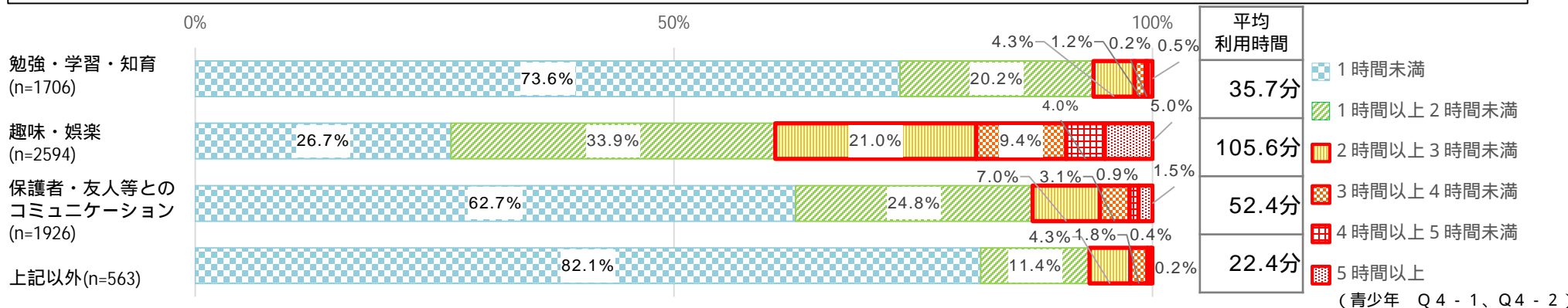
## 概要 4 青少年のインターネットの利用状況 - 4 (利用時間)

インターネットを利用すると回答した青少年の平均利用時間は、前年度と比べ約9分増加し、約169分。  
小学生は、平均利用時間が前年度と比べ約21分増加。  
目的ごとの平均利用時間は趣味・娯楽が最も多く、約106分。

### 青少年のインターネットの利用時間 (利用機器の合計 / 平日 1日あたり)



### 目的ごとの青少年のインターネットの利用時間 (利用機器の合計 / 平日 1日あたり) 【平成30年度新規設問】



(注1) 平均利用時間は、「使っていない」は0分とし、「わからない」を除いて平均値を算出。(注2) 「利用機器の合計」の利用時間は、回答者が利用している各機器の利用時間を合算したものの。

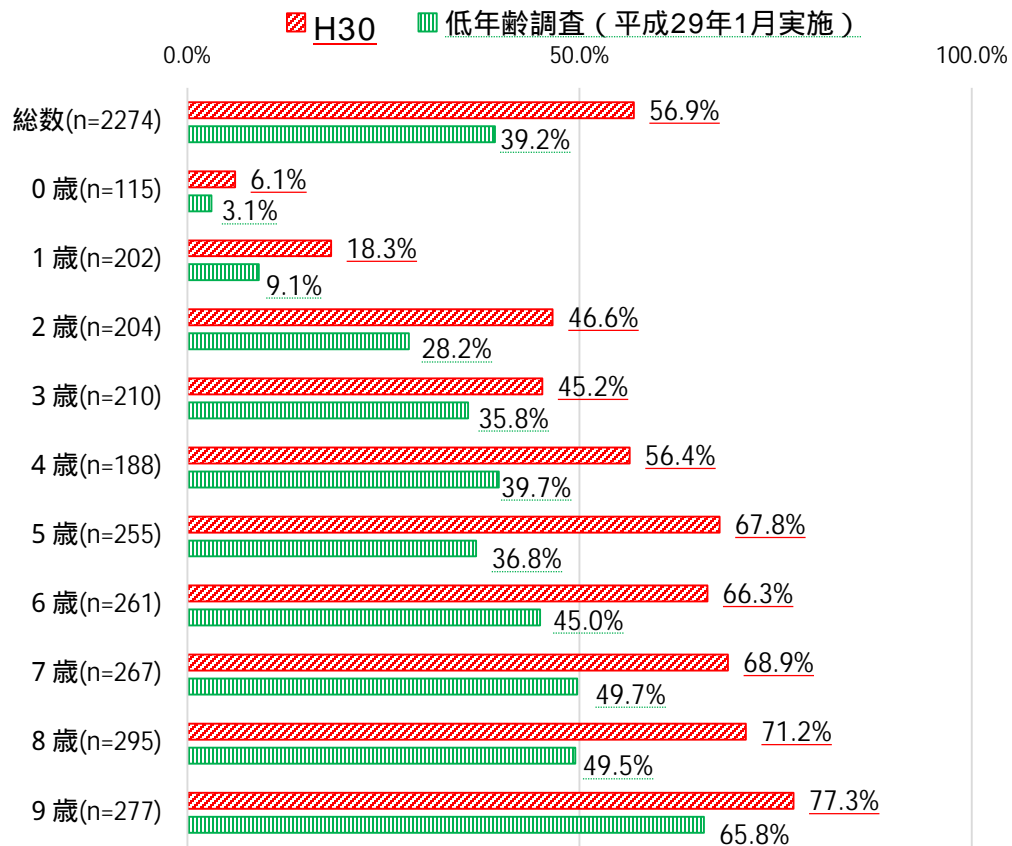
(注3) 平均利用時間・2時間以上の割合については、青少年に対して調査した15機器のうち、いずれかの機器でインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

回答数は、平成29年度 総数(n=2713) 小学生(n=664) 中学生(n=1115) 高校生(n=915)、平成28年度 総数(n=2635) 小学生(n=625) 中学生(n=1051) 高校生(n=953)

# 概要 5 低年齢層の子供のインターネットの利用状況 - 1 (インターネット利用率)

低年齢層の子供の56.9%がインターネットを利用。年齢が高いほど利用率も高くなる傾向にある。インターネットを利用する機器は、スマートフォン (33.1%)、タブレット (26.7%)、携帯ゲーム機 (15.2%) が上位。

インターネット利用率 (年齢別)



○インターネットを利用している機器 (n=2274)

スマートフォン	33.1%
格安スマートフォン	3.4%
子供向けスマートフォン	0.9%
契約切れスマートフォン	9.4%
携帯電話	0.6%
子供向け携帯電話	5.1%
ノートパソコン	5.9%
デスクトップパソコン	3.2%
タブレット	26.7%
学習用タブレット	4.7%
子供向け娯楽用タブレット	0.7%
携帯音楽プレイヤー	0.5%
携帯ゲーム機	15.2%
据置型ゲーム機	7.5%
インターネット接続テレビ	10.9%

(注1) 「低年齢層の子供のインターネット利用率」及び「インターネットを利用している機器」は、回答した低年齢層の子供の保護者全員をベースに集計。(低年齢層の子供の保護者 Q1-1、Q1-2)

(注2) 「低年齢調査」の数値は、回答数は以下のとおり。  
 総数 (n=1550) 0歳 (n=97) 1歳 (n=121) 2歳 (n=163) 3歳 (n=162) 4歳 (n=131) 5歳 (n=163) 6歳 (n=169) 7歳 (n=163) 8歳 (n=182) 9歳 (n=199)

(注3) インターネット利用率についての質問形式は、低年齢調査では「低年齢層の子供の保護者に調査した15機器のうち、いずれかの機器での子供のインターネット利用の有無」を問う設問であり、平成30年度の「子供のインターネット利用の有無」を問う設問と相違があり、低年齢調査の結果とは直接比較できないため、参考値として記載。

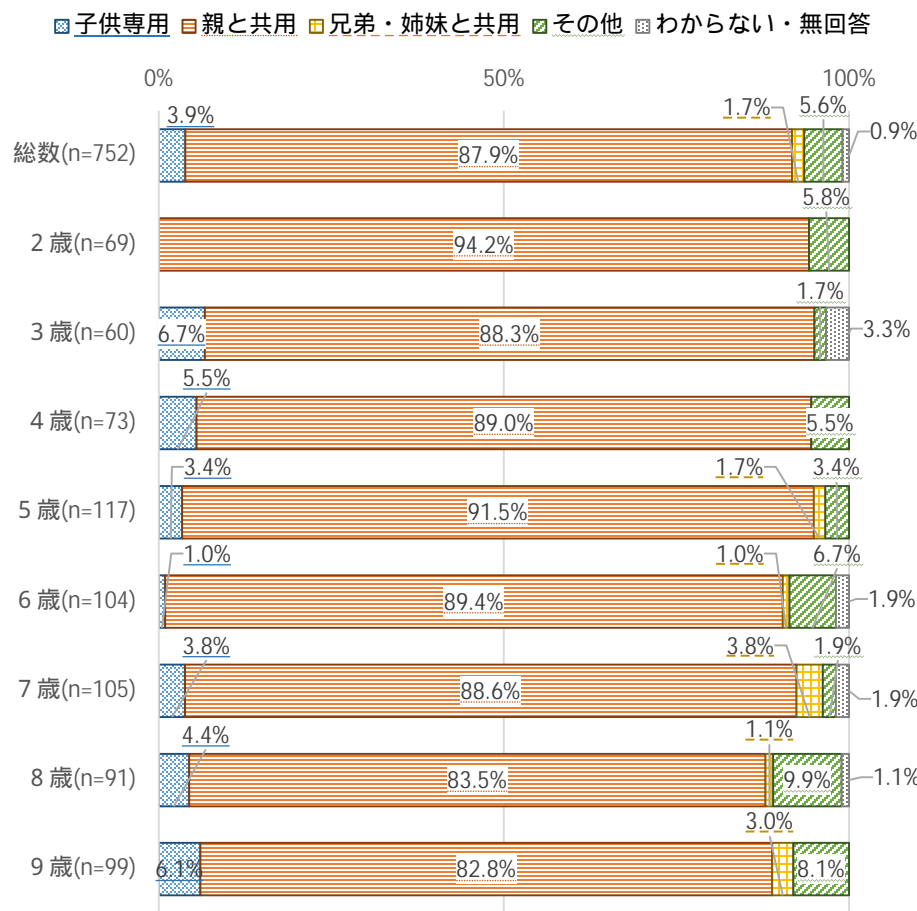
## 概要6 低年齢層の子供のインターネットの利用状況 - 2 (機器の専用・共用)

インターネットを利用している低年齢層の子供は、学習用タブレット(75.9%)、子供向け携帯電話(69.8%)で、子供専用の機器を利用している割合が高い。  
スマートフォンについては、ほとんどの子供が親と共用で利用している。

低年齢層の子供の各機器の専用・共用 (平成30年度)

	子供専用	親と共用	兄弟・姉妹と共用	その他	わからない・無回答
スマートフォン(n=752)	3.9%	87.9%	1.7%	5.6%	0.9%
格安スマートフォン(n=78)	11.5%	78.2%	2.6%	7.7%	—
子供向けスマートフォン(n=21)	38.1%	9.5%	42.9%	4.8%	4.8%
契約切れスマートフォン(n=213)	30.0%	30.0%	31.5%	5.6%	2.8%
携帯電話(n=13)	38.5%	15.4%	15.4%	23.1%	7.7%
子供向け携帯電話(n=116)	69.8%	—	27.6%	—	2.6%
ノートパソコン(n=135)	3.0%	83.7%	1.5%	8.1%	3.7%
デスクトップパソコン(n=72)	2.8%	87.5%	1.4%	8.3%	—
タブレット(n=607)	9.6%	67.4%	16.3%	4.1%	2.6%
学習用タブレット(n=108)	75.9%	1.9%	21.3%	—	0.9%
子供向け娯楽用タブレット(n=16)	62.5%	12.5%	18.8%	—	6.3%
携帯音楽プレイヤー(n=12)	16.7%	58.3%	8.3%	8.3%	8.3%
携帯ゲーム機(n=345)	51.0%	15.1%	31.6%	0.3%	2.0%
据置型ゲーム機(n=171)	13.5%	45.6%	36.8%	1.8%	2.3%
インターネット接続テレビ(n=248)	1.6%	87.9%	3.2%	4.8%	2.4%

機器の専用率 (年齢別・スマートフォン/平成30年度)



(注) 子供がインターネットを利用していると回答した低年齢層の子供の保護者をベースに集計。0歳(n=6)及び1歳(n=28)は回答数が少ないため図示しない。

## 概要 7 低年齢層の子供のインターネットの利用状況 -3 (利用内容)

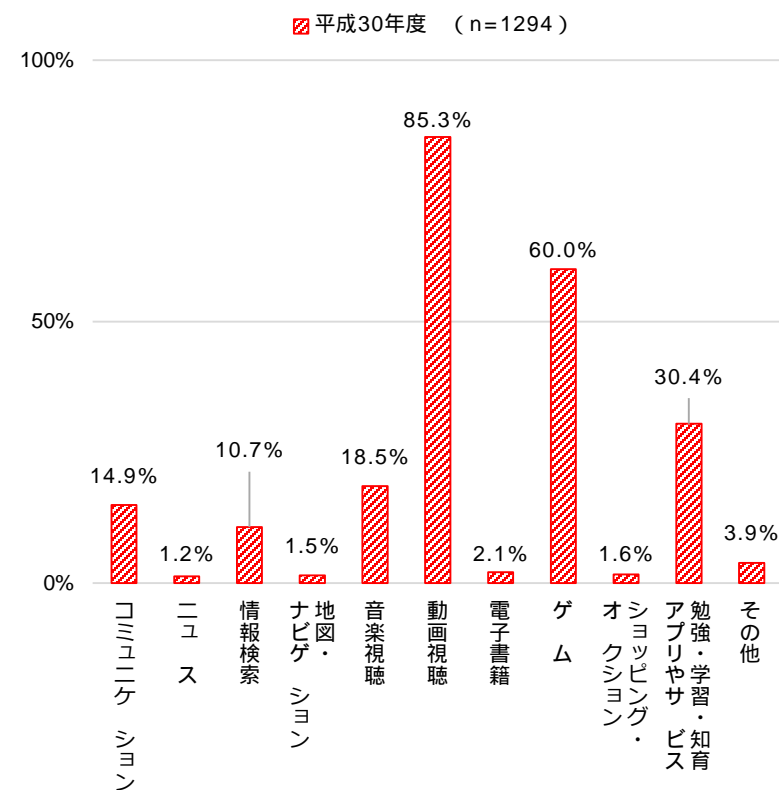
インターネットを利用している低年齢層の子供の利用内容の内訳は、動画視聴(85.3%)、ゲーム(60.0%)が上位。

低年齢層の子供のインターネットの利用内容(いずれかの機器 / 平成30年度)

	コミュニケーション	ニュース	情報検索	地図・ナビゲーション	音楽視聴	動画視聴	電子書籍	ゲーム	ショッピング・オクシオン	勉強・学習・知育アプリやサービス	その他
総数(n=1294)	14.9%	1.2%	10.7%	1.5%	18.5%	85.3%	2.1%	60.0%	1.6%	30.4%	3.9%
2歳(n=95)	3.2%	2.1%	2.1%	—	15.8%	93.7%	2.1%	18.9%	—	24.2%	2.1%
3歳(n=95)	2.1%	—	1.1%	—	12.6%	94.7%	—	33.7%	1.1%	22.1%	3.2%
4歳(n=106)	1.9%	—	4.7%	1.9%	16.0%	89.6%	0.9%	44.3%	3.8%	32.1%	1.9%
5歳(n=173)	3.5%	1.2%	2.9%	1.2%	20.8%	86.7%	1.7%	58.4%	1.2%	34.1%	2.3%
6歳(n=173)	11.0%	0.6%	5.2%	1.7%	13.9%	86.1%	0.6%	63.0%	2.3%	30.6%	1.7%
7歳(n=184)	22.3%	2.2%	11.4%	1.1%	19.6%	83.2%	4.3%	73.9%	0.5%	37.5%	4.9%
8歳(n=210)	24.3%	0.5%	16.7%	1.9%	19.5%	78.1%	1.9%	78.6%	1.9%	30.0%	6.2%
9歳(n=214)	31.8%	2.8%	28.0%	2.8%	22.4%	79.9%	3.7%	78.0%	2.3%	31.3%	6.1%

(注) 「低年齢層の子供のインターネットの利用内容」は、低年齢層の子供の保護者に対して調査した15機器のうち、いずれかの機器で子供がインターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。0歳(n=7)及び1歳(n=37)は回答数が少ないため図示しない。

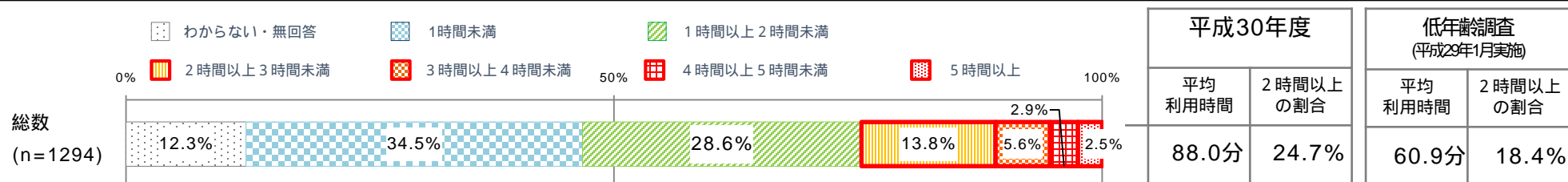
インターネット利用内容(いずれかの機器 / 平成30年度)



## 概要 8 低年齢層の子供のインターネットの利用状況 - 4 (利用時間)

インターネットを利用している低年齢層の子供の平均利用時間は、約88分。  
目的ごとの平均利用時間は趣味・娯楽が最も多く、約66分。

低年齢層の子供のインターネットの利用時間 (利用機器の合計 / 平日 1日あたり)



	わからない・ 無回答	1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上 5時間未満	5時間以上	平均 (分)	低年齢調査(平成29年1月実施) 平均(分)
2歳(n=95)	8.4%	34.7%	26.3%	20.0%	6.3%	2.1%	2.1%	83.0	65.1
3歳(n=95)	18.9%	37.9%	21.1%	10.5%	6.3%	1.1%	4.2%	82.0	58.6
4歳(n=106)	17.0%	37.7%	26.4%	11.3%	3.8%	2.8%	0.9%	69.1	54.1
5歳(n=173)	14.5%	39.9%	22.5%	12.1%	8.1%	1.2%	1.7%	90.2	56.5
6歳(n=173)	12.1%	35.8%	31.2%	12.7%	2.9%	1.7%	3.5%	92.7	55.1
7歳(n=184)	9.8%	32.6%	36.4%	13.6%	3.3%	2.7%	1.6%	78.5	74.8
8歳(n=210)	11.0%	30.0%	33.8%	10.0%	9.0%	3.8%	2.4%	90.6	56.9
9歳(n=214)	10.3%	28.5%	27.1%	20.1%	5.6%	5.1%	3.3%	103.4	64.7

目的ごとの低年齢層の子供のインターネットの利用時間 (利用機器の合計 / 平日 1日あたり) 【平成30年度新規設問】

	1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上 5時間未満	5時間以上	平均 (分)
勉強・学習・知育 (n=459)	85.4%	12.9%	0.7%	0.7%	0.2%	0.2%	21.4
趣味・娯楽(n=1067)	48.4%	30.6%	13.2%	4.4%	1.8%	1.6%	66.1
保護者・友人等との コミュニケーション(n=273)	95.2%	2.9%	0.4%	—	0.7%	0.7%	16.0
上記以外(n=182)	89.0%	5.5%	3.8%	1.1%	—	0.5%	16.4

(注1) 平均利用時間は、「使っていない」は0分とし、「わからない」を除いて平均値を算出。(注2) 「利用機器の合計」の利用時間は、回答者の子供が利用している各機器の利用時間を合算したものの。

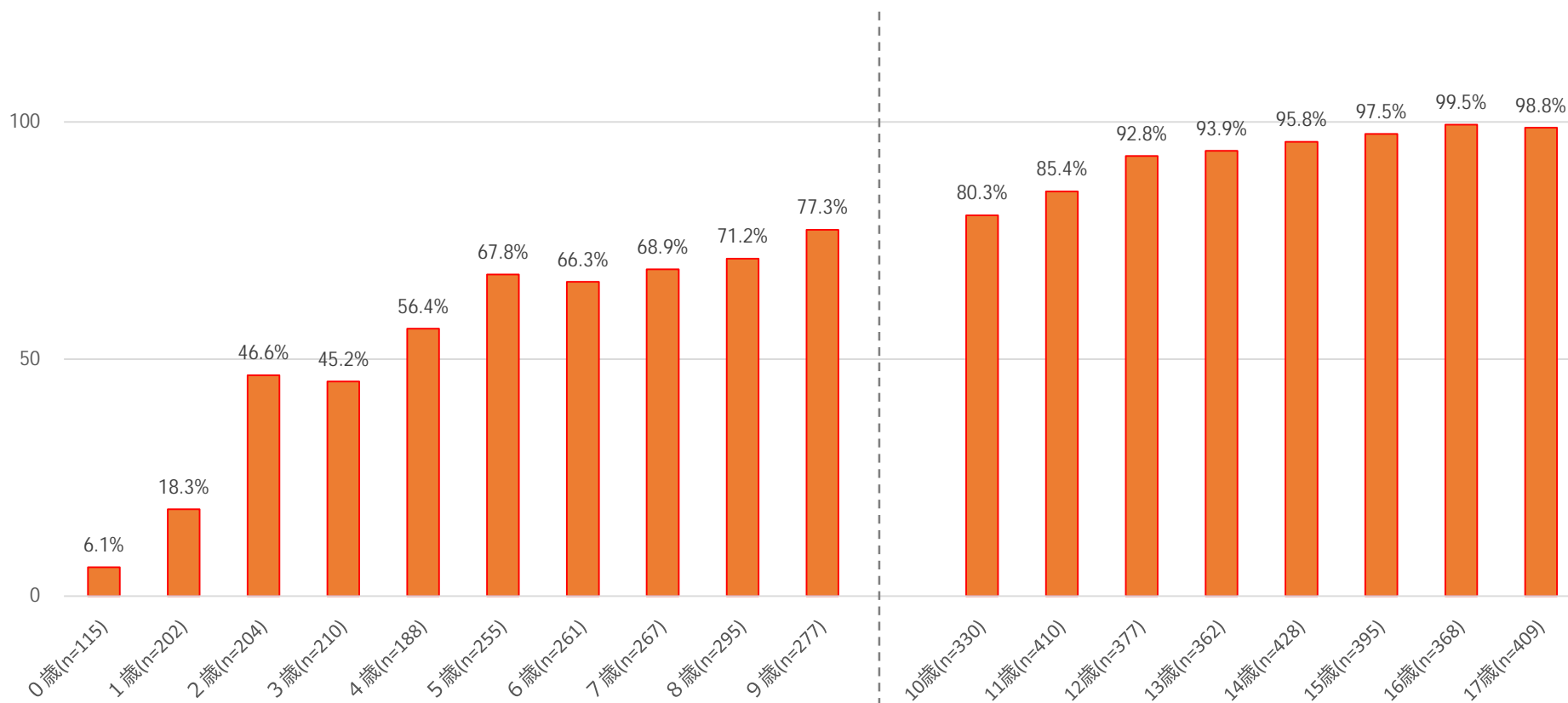
(注3) 平均利用時間・2時間以上の割合については、低年齢層の子供の保護者に対して調査した15機器のうち、いずれかの機器でインターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。0歳

(n=7) 及び1歳(n=37)は回答数が少ないため図示しない。(注4) 低年齢調査の平均利用時間は、参考値として記載する。なお回答数は、総数(n=608) 2歳(n=46) 3歳(n=58) 4歳(n=52) 5歳(n=60) 6歳(n=76) 7歳(n=81) 8歳(n=90) 9歳(n=131)

# 概要 9 年齢別のインターネットの利用状況 - 1 (インターネット利用率)

年齢が上がるとともにインターネットの利用率も高くなる傾向。

### インターネット利用率 (年齢別・平成30年度)



(注1) 「インターネット利用率」は回答した青少年全員及び低年齢層の子供の保護者全員をベースに集計。

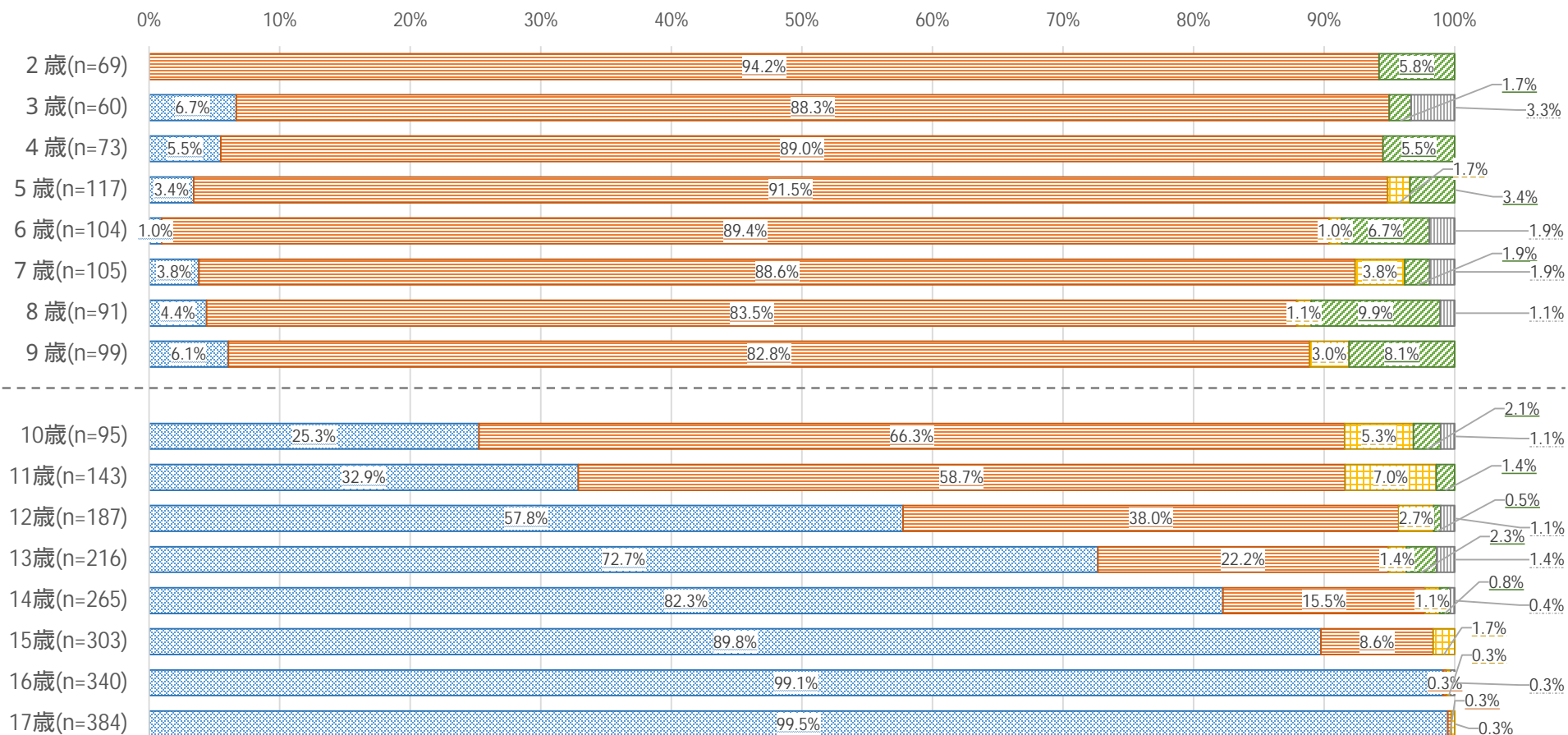
(注2) 青少年は本人に、低年齢層の子供は保護者に対して調査した結果であるため、直接比較することはできない。

# 概要 10 年齢別のインターネットの利用状況 - 2 (機器の専用・共用)

子供専用のものを使っている割合は、11歳から12歳にかけて24.9ポイント上昇し、専用と共用の割合が逆転。

### 機器の専用率 (年齢別・スマートフォン/平成30年度)

■ 子供専用 ■ 親と共用 ■ 兄弟・姉妹と共用 ■ その他 ■ わからない・無回答



(注1) 「スマートフォン」でインターネットを利用していると回答した青少年及び低年齢層の子供の保護者をベースに集計。0歳 (n=6)、1歳 (n=28) は回答数が少ないため図示しない。

(注2) 青少年は本人に、低年齢層の子供は保護者に対して調査した結果であるため、直接比較することはできない

(青少年 Q2、低年齢層の子供の保護者 Q2)

# 概要11 年齢別のインターネットの利用状況 - 3 (利用内容)

利用内容の割合は、  
 動画視聴が、全年齢を通じて高い。  
 コミュニケーション及び音楽視聴は、12歳より加齢に伴う増加が顕著。  
 ゲームは、12歳以降では頭打ち。

## インターネット利用内容 (年齢別・いずれかの機器 / 平成30年度)

	コミュニケーション	ニュース	情報検索	地図・ナビゲーション	音楽視聴	動画視聴	電子書籍	ゲーム	ショッピング・オクシジョン	勉強・学習・知育アプリやサビス	その他	わからない
2歳(n=95)	3.2%	2.1%	2.1%	—	15.8%	93.7%	2.1%	18.9%	—	24.2%	2.1%	—
3歳(n=95)	2.1%	—	1.1%	—	12.6%	94.7%	—	33.7%	1.1%	22.1%	3.2%	—
4歳(n=106)	1.9%	—	4.7%	1.9%	16.0%	89.6%	0.9%	44.3%	3.8%	32.1%	1.9%	—
5歳(n=173)	3.5%	1.2%	2.9%	1.2%	20.8%	86.7%	1.7%	58.4%	1.2%	34.1%	2.3%	—
6歳(n=173)	11.0%	0.6%	5.2%	1.7%	13.9%	86.1%	0.6%	63.0%	2.3%	30.6%	1.7%	—
7歳(n=184)	22.3%	2.2%	11.4%	1.1%	19.6%	83.2%	4.3%	73.9%	0.5%	37.5%	4.9%	0.5%
8歳(n=210)	24.3%	0.5%	16.7%	1.9%	19.5%	78.1%	1.9%	78.6%	1.9%	30.0%	6.2%	—
9歳(n=214)	31.8%	2.8%	28.0%	2.8%	22.4%	79.9%	3.7%	78.0%	2.3%	31.3%	6.1%	—
10歳(n=265)	32.5%	6.4%	24.5%	4.9%	23.4%	60.4%	3.0%	80.0%	3.4%	28.3%	6.8%	0.4%
11歳(n=350)	35.7%	6.3%	32.0%	3.1%	30.3%	67.1%	4.9%	82.3%	2.3%	28.3%	3.1%	0.9%
12歳(n=350)	49.1%	14.0%	38.0%	12.0%	48.3%	72.6%	5.1%	80.9%	2.6%	27.7%	2.9%	0.9%
13歳(n=340)	63.2%	24.1%	52.9%	15.9%	53.5%	79.1%	9.4%	77.4%	6.2%	34.4%	3.8%	—
14歳(n=410)	70.5%	27.8%	52.7%	22.9%	68.3%	83.4%	12.9%	76.3%	8.3%	33.9%	2.2%	0.2%
15歳(n=385)	76.6%	36.6%	63.9%	34.3%	72.7%	82.1%	16.1%	68.1%	15.1%	45.2%	4.7%	0.5%
16歳(n=366)	92.1%	39.3%	68.9%	42.9%	82.8%	89.6%	18.0%	73.5%	25.4%	52.2%	4.1%	—
17歳(n=404)	89.1%	51.2%	72.5%	50.2%	80.7%	87.4%	18.6%	75.0%	35.9%	46.5%	5.7%	—

(注1) 「いずれかの機器」とは、青少年及び低年齢層の子供の保護者に対して調査した15機器のうち、いずれかの機器でインターネットを利用していると回答した青少年及び低年齢層の子供の保護者をベースに集計。

(注2) 青少年は本人に、低年齢層の子供は保護者に対して調査した結果であるため、直接比較することはできない。

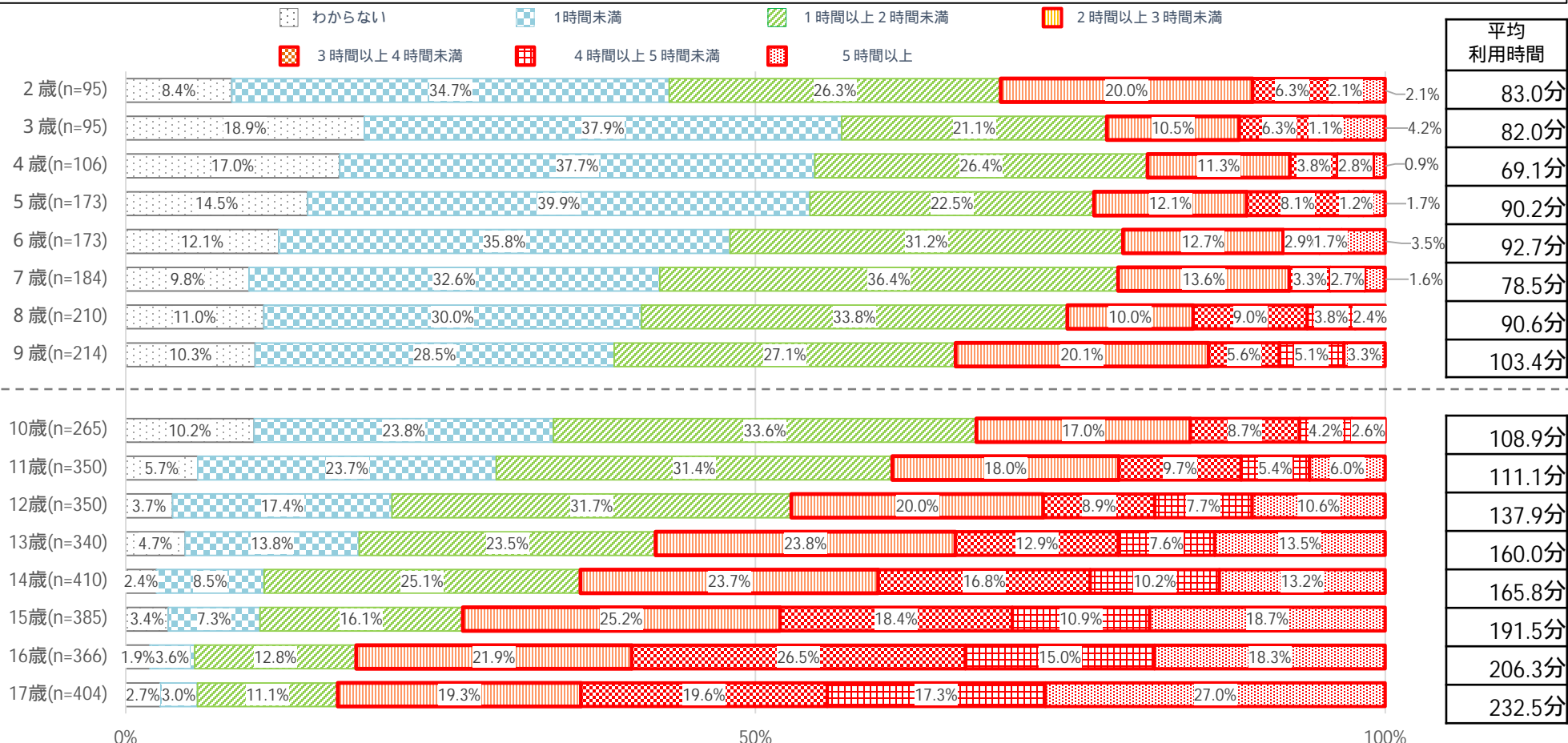
(青少年 Q3、低年齢層の子供の保護者 Q3)



# 概要12 年齢別のインターネットの利用状況 - 4 (利用時間)

インターネットの平均利用時間は、年齢とともに増加傾向にある。

### インターネットの利用時間 (年齢別・利用機器の合計 / 平日1日あたり)



(注1) 平均利用時間は、「使っていない」は0分とし、「わからない」を除いて平均値を算出。

(注2) 「利用機器の合計」の利用時間は、青少年及び低年齢の子供の保護者が回答した各機器の利用時間を合算したものの。0歳 (n = 7) 及び1歳 (n = 37) は回答数が少ないため図示しない。

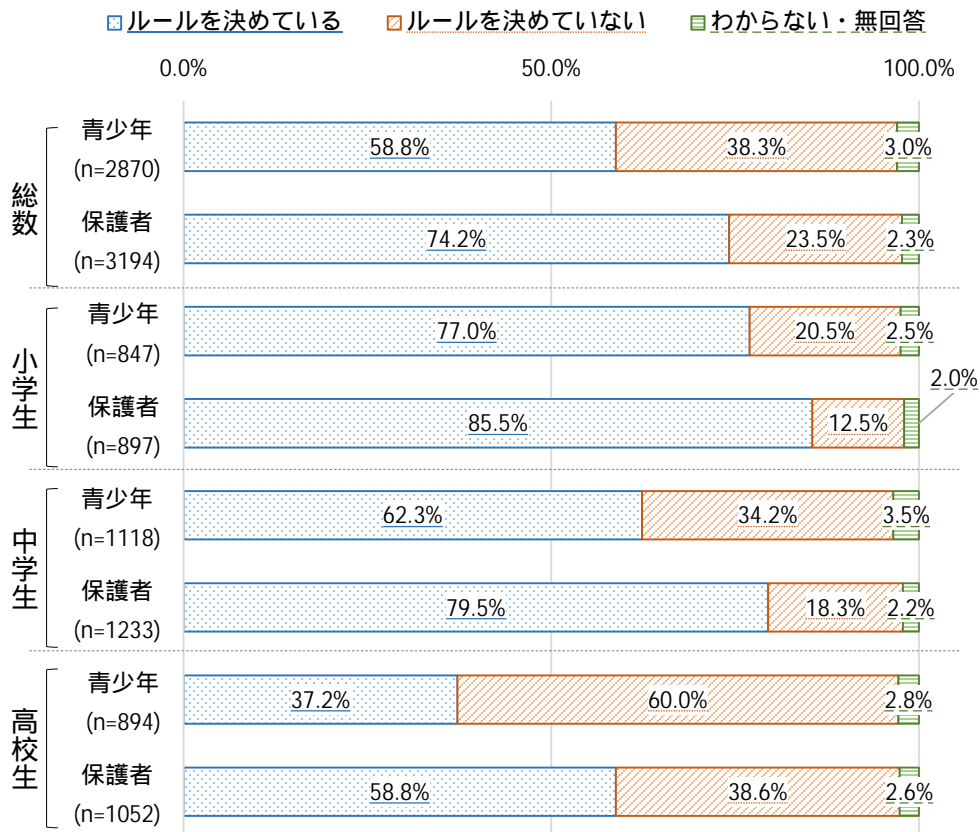
(注3) 青少年は本人に、低年齢層の子供は保護者に対して調査した結果であるため、直接比較することはできない。

(青少年 Q4 - 1、低年齢層の子供の保護者 Q4 - 1)

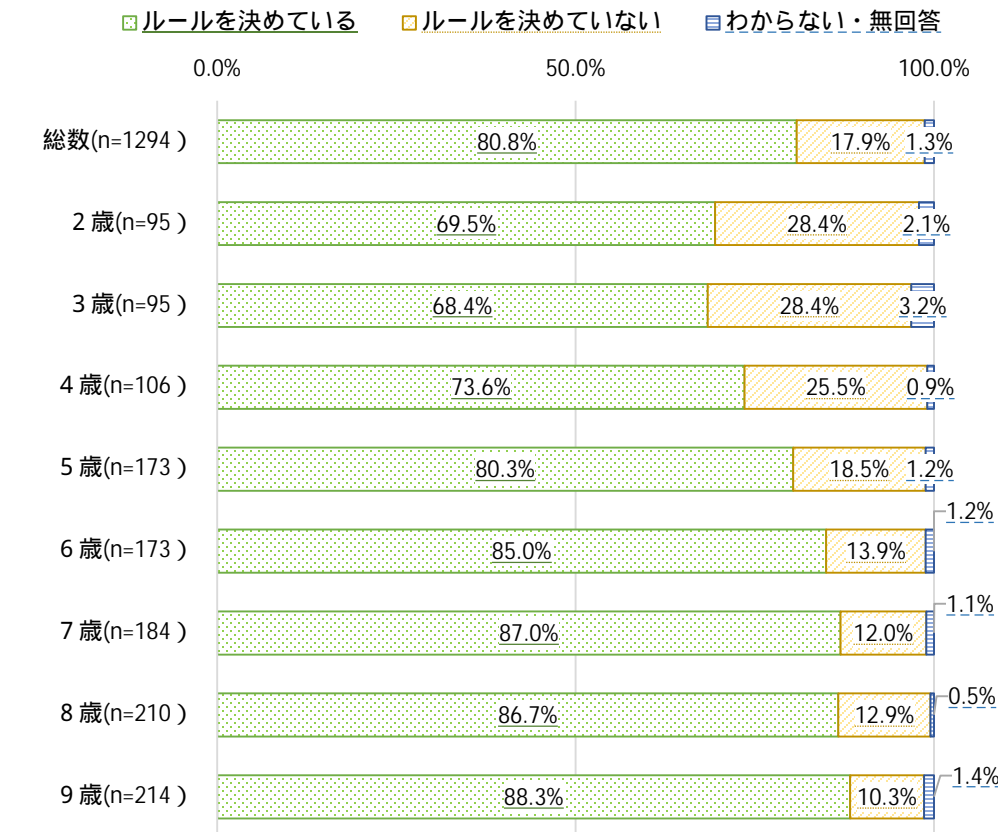
# 概要13 インターネット利用に関する家庭のルールの有無

低年齢層の子供の保護者のうち、「ルールを決めている」との回答は80.8%で、子供の年齢が上がるとともに割合は増加傾向。  
 他方で、学校種が上がるにつれて「ルールを決めていない」との回答が増え、青少年と青少年の保護者の「ルールの有無に関する認識のギャップ」も拡大傾向。

### 青少年とその保護者のルールの有無に関する認識の比較（学校種別）



### 低年齢層の子供の保護者のルールの有無（年齢別）



（青少年 Q6 - 1、青少年の保護者 Q3 - 1、低年齢層の子供の保護者 Q6 - 1）

(注1) インターネットを利用していると回答した青少年及び子供がインターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。

(注2) 低年齢層の子供の保護者の家庭でのルールについて、0歳 (n=7) 及び1歳 (n=37) は回答数が少ないため図示しない。

# 概要14 子供のインターネット利用に関する保護者の取組 1 (青少年の保護者)

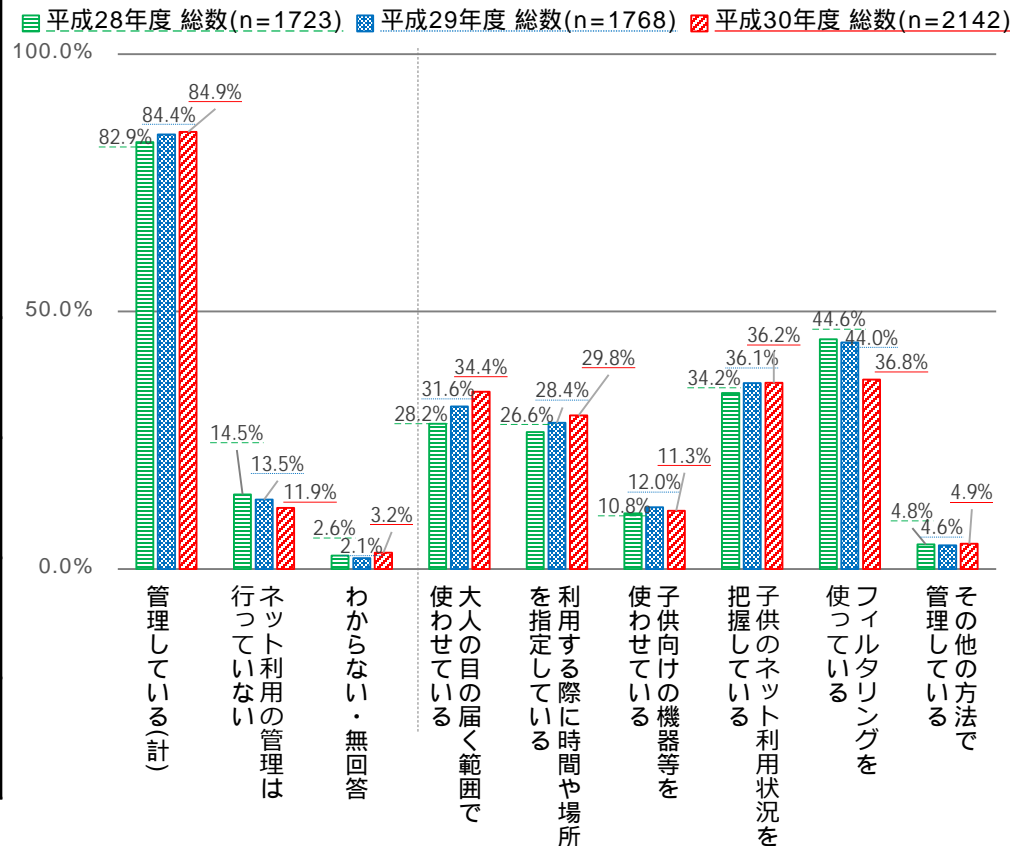
子供がスマートフォンを利用する青少年の保護者の84.9%がいずれかの方法で子供のネット利用を管理していると回答。

実施している取組みは、フィルタリング(36.8%)、子供のネット利用状況を把握(36.2%)が上位。

青少年の保護者の取組 (スマートフォン/平成30年度)

	管理している(計)	ネット利用の管理は行っていない	わからない・無回答	大人の目の届く範囲で使わせている	利用する際に時間や場所を指定している	子供向けの機器等を使わせている	子供のネット利用状況を把握している	フィルタリングを使っている	その他の方法で管理している
総数 (n=2142)	84.9%	11.9%	3.2%	34.4%	29.8%	11.3%	36.2%	36.8%	4.9%
小・保 (n=396)	96.5%	1.5%	2.0%	73.7%	50.8%	12.4%	36.9%	22.5%	4.8%
中・保 (n=773)	90.6%	6.9%	2.5%	42.2%	40.2%	13.5%	38.6%	40.4%	5.7%
高・保 (n=962)	76.2%	19.6%	4.2%	12.4%	13.1%	9.4%	34.2%	40.2%	4.2%

青少年の保護者の取組の経年比較 (スマートフォン/平成28年度から平成30年度)



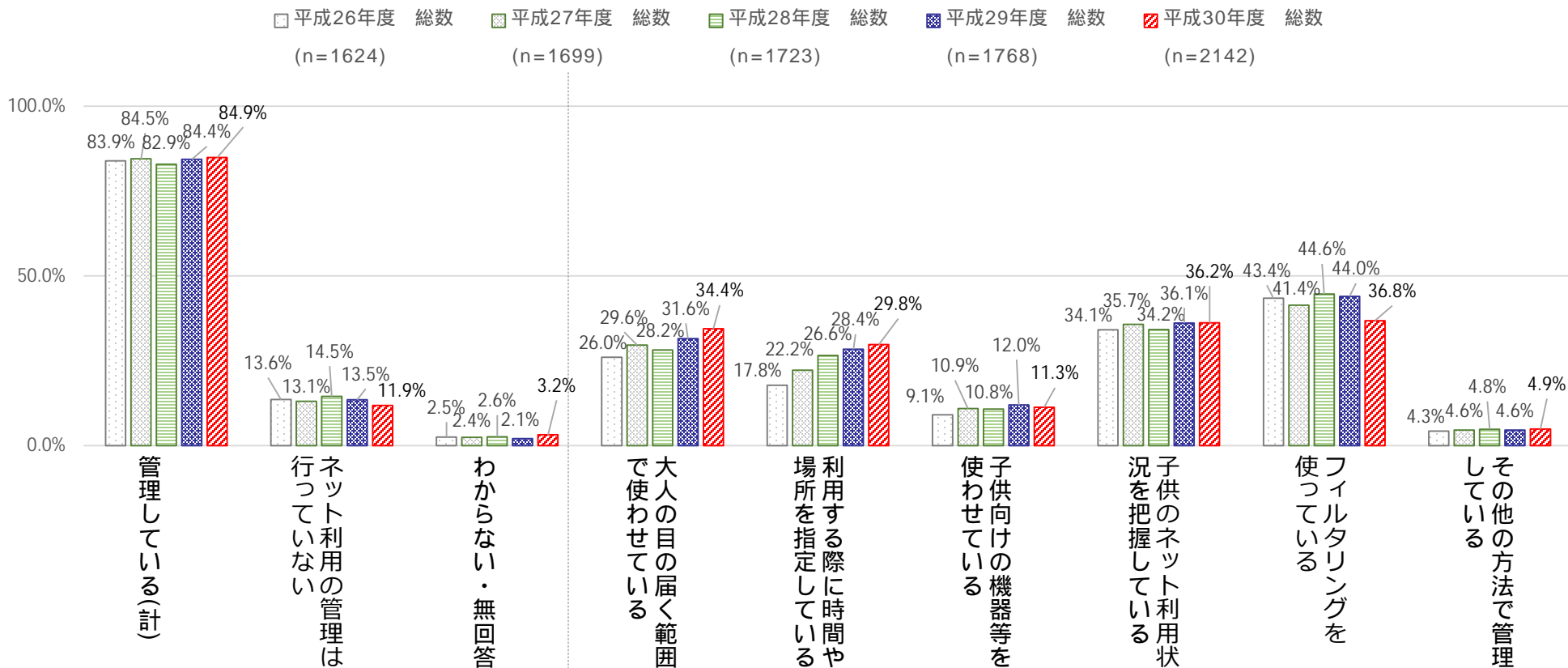
(青少年の保護者 Q4)

(注1) 子供が「スマートフォン」でインターネットを利用していると回答した青少年の保護者をベースに集計。

(注2) 「利用する際に時間や場所を指定している」は平成29年度までは「利用時間等のルールを決めている」という選択肢であったため、平成30年度とそれ以前の調査結果を直接比較できない。

# 参考資料 2 子供のインターネット利用に関する保護者の取組の経年比較（青少年の保護者）

スマートフォンにおける青少年の保護者のインターネット利用に関する取組の経年比較（平成26年度から平成30年度）



(保護者)

(注1) 子供が「スマートフォン」でインターネットを利用していると回答した青少年の保護者をベースに集計。

(注2) 「フィルタリングを使っている」との回答については、平成28年度以降は、質問文に続くフィルタリングに係る説明資料の内容に変更を加え、選択肢「機器に備わっている利用制限・閲覧制限機能等を使っている」を削除したため、平成26年度・平成27年度の調査結果と直接比較できない。

(注3) 「利用する際に時間や場所を指定している」は平成29年度までは「利用時間等のルールを決めている」という選択肢であったため、平成30年度とそれ以前の調査結果を直接比較できない。

# 概要15 子供のインターネット利用に関する保護者の取組 2 (低年齢層の子供の保護者)

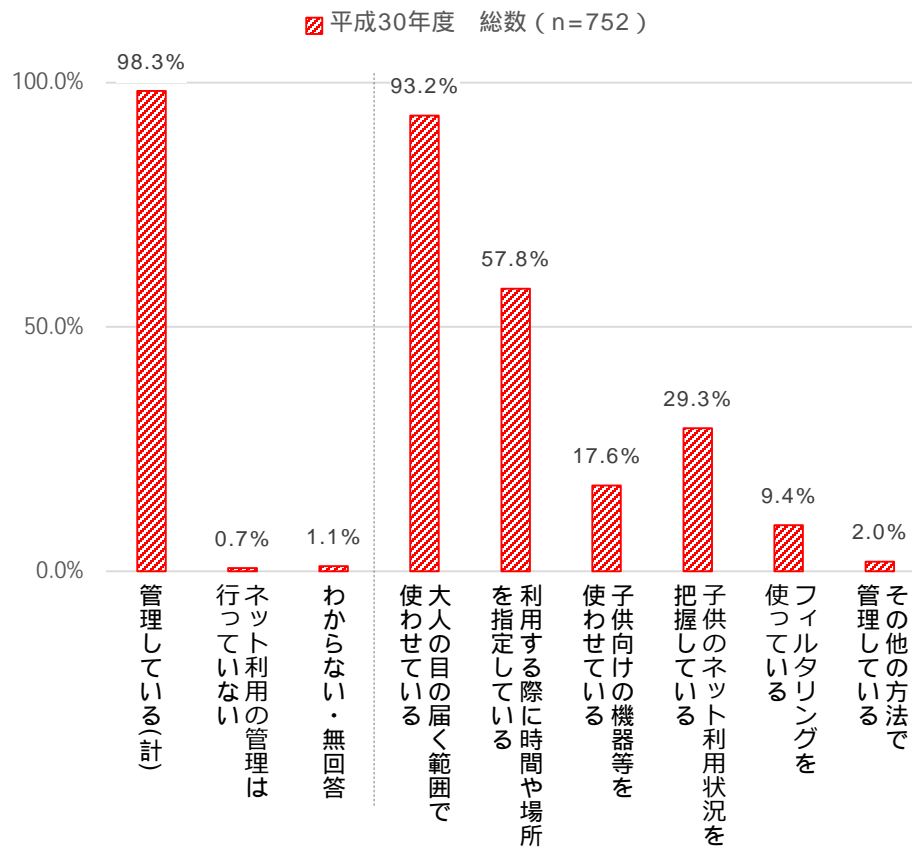
子供がスマートフォンを利用する低年齢層の子供の保護者の98.3%がいずれかの方法で子供のネット利用を管理していると回答。

手法としてはいずれの年齢においても「大人の目の届く範囲で使わせている」が最も多く、ついで「利用する際に時間や場所を指定している」との回答が続いている。

低年齢層の子供の保護者の取組 (スマートフォン/平成30年度) (単位: %)

	管理している(計)	ネット利用の管理は行っていない	わからない・無回答	大人の目の届く範囲で使わせている	利用する際に時間や場所を指定している	子供向けの機器等を使わせている	子供のネット利用状況を把握している	フィルタリングを使っている	その他の方法で管理している
総数(n=752)	98.3	0.7	1.1	93.2	57.8	17.6	29.3	9.4	2.0
2歳(n=69)	100.0	—	—	98.6	59.4	30.4	23.2	2.9	—
3歳(n=60)	98.3	—	1.7	93.3	63.3	10.0	23.3	5.0	—
4歳(n=73)	100.0	—	—	98.6	57.5	17.8	23.3	1.4	1.4
5歳(n=117)	100.0	—	—	94.9	62.4	24.8	26.5	12.0	2.6
6歳(n=104)	98.1	1.0	1.0	93.3	62.5	12.5	28.8	9.6	2.9
7歳(n=105)	95.2	1.0	3.8	88.6	56.2	7.6	31.4	11.4	1.9
8歳(n=91)	97.8	1.1	1.1	92.3	56.0	19.8	33.0	16.5	3.3
9歳(n=99)	98.0	2.0	—	88.9	55.6	17.2	44.4	13.1	3.0

低年齢層の子供の保護者の取組 (スマートフォン/平成30年度)



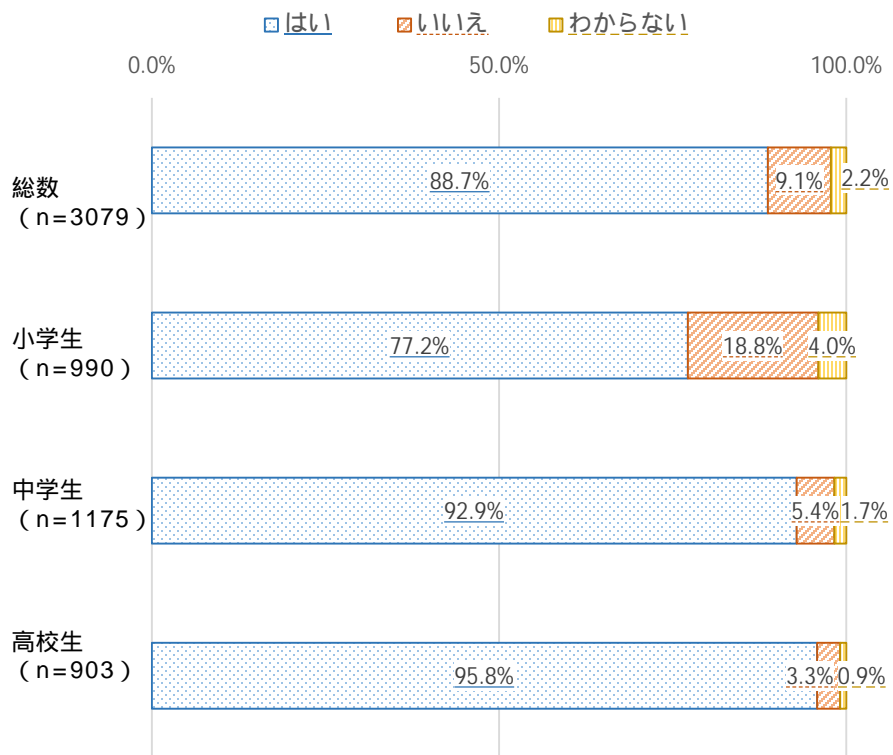
(低年齢層の子供の保護者 Q7)

(注) 子供が「スマートフォン」でインターネットを利用していると回答した低年齢層の子供の保護者をベースに集計。0歳 (n=6) 及び1歳 (n=28) は回答数が少ないため図示しない。

# 概要16 インターネットに関する啓発や学習の経験 1 (青少年)

青少年がインターネットに関する啓発や学習を受けた経験は88.7%。学校種が上がるほど割合も増加。啓発や学習を受けた機会としては、学校・幼稚園・保育園等(97.6%)が最も多い。

青少年のインターネットに関する啓発や学習の経験  
(学校種別 / 平成30年度)



○啓発や学習を受けた機会

	学校・幼稚園・ 保育園等	親(保護者)	兄弟・姉妹	機器の購入時の 販売員	機器の購入時の 資料	友達	テレビや本・ パンフレットなど	インタ ネット	その他
総数 (n = 2731)	97.6%	26.8%	2.1%	3.9%	1.9%	5.6%	12.5%	7.1%	0.3%
小学生 (n = 764)	95.4%	34.7%	2.4%	0.7%	1.0%	4.7%	11.6%	3.5%	0.5%
中学生 (n = 1091)	98.0%	26.8%	2.4%	3.5%	2.1%	6.1%	13.3%	7.5%	0.2%
高校生 (n = 865)	99.1%	20.0%	1.4%	7.3%	2.4%	5.8%	12.4%	9.8%	0.1%

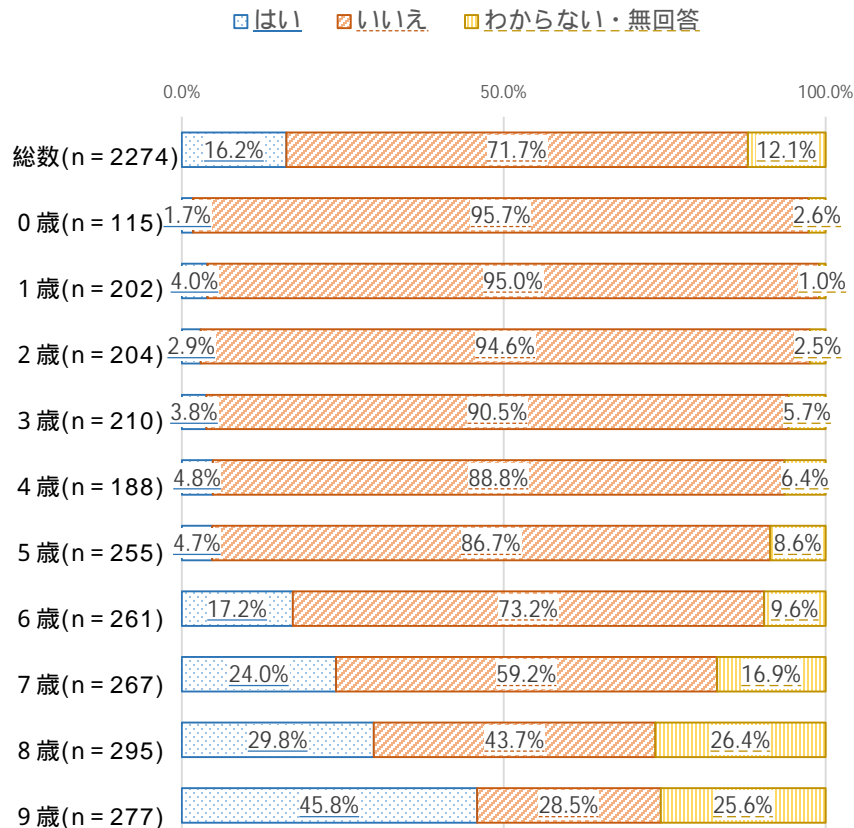
(注) 「青少年のインターネットに関する啓発や学習の経験」は、回答した青少年全員をベースに集計。

# 概要17 インターネットに関する啓発や学習の経験 2 (低年齢層の子供)

低年齢層の子供がインターネットに関する啓発や学習を受けた経験は16.2%。年齢が上がるにつれて、増加傾向。

啓発や学習を受けた機会としては、学校・幼稚園・保育園等(70.7%)、親(保護者)(45.8%)が上位。

低年齢層の子供のインターネットに関する啓発や学習の経験 (年齢別/平成30年度)



○啓発や学習を受けた機会

	学校・幼稚園・保育園等	親(保護者)	兄弟・姉妹	病院(産科・小児科等)	機器の購入時の販売員	機器の購入時の資料	友達	テレビや本・パンフレットなど	インターネット	その他
総数 (n = 369)	70.7%	45.8%	7.3%	1.9%	2.7%	3.3%	6.8%	30.1%	10.6%	0.8%
6歳 (n = 45)	62.2%	37.8%	6.7%	2.2%	-	-	11.1%	31.1%	6.7%	-
7歳 (n = 64)	75.0%	39.1%	6.3%	1.6%	1.6%	7.8%	9.4%	34.4%	15.6%	1.6%
8歳 (n = 88)	72.7%	48.9%	3.4%	-	3.4%	1.1%	3.4%	28.4%	6.8%	-
9歳 (n = 127)	79.5%	55.1%	9.4%	-	2.4%	2.4%	5.5%	24.4%	6.3%	0.8%

(注) 「低年齢層の子供のインターネットに関する啓発や学習の経験」は、回答した低年齢層の子供の保護者全員をベースに集計。

(低年齢層の子供の保護者 Q13 - 1、13 - 2)

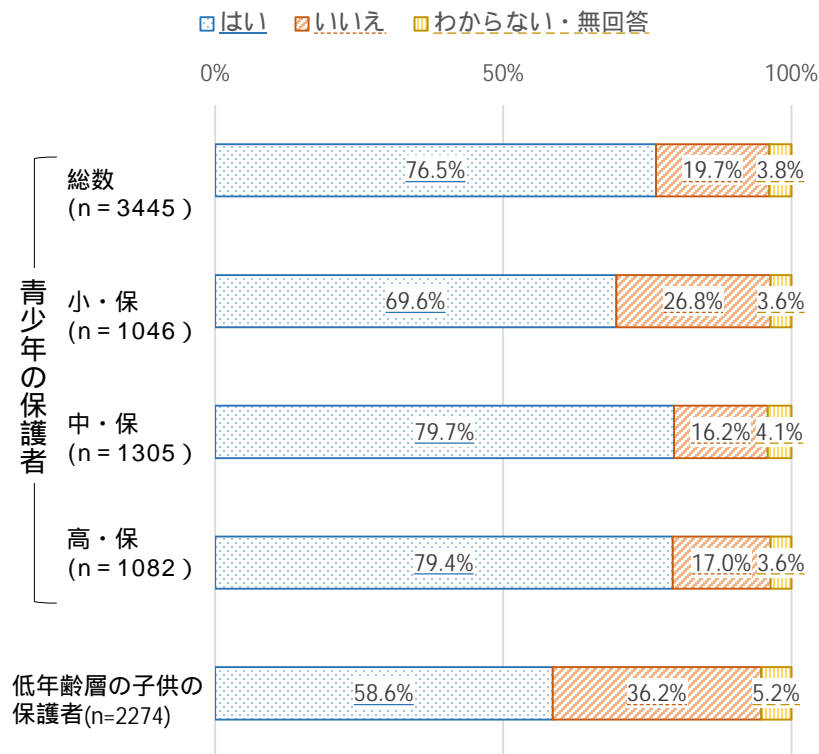
(注) 「啓発や学習を受けた機会」について、0歳 (n = 2)、1歳 (n = 8)、2歳 (n = 6)、3歳 (n = 8)、4歳 (n = 9)、5歳 (n = 12) は回答数が少ないため図示しない。

## 概要18 インターネットに関する啓発や学習の経験 3（保護者）

保護者がインターネットに関する啓発や学習を受けた経験は、青少年の保護者では76.5%、低年齢層の子供の保護者では58.6%。

啓発や学習を受けた機会としては、青少年の保護者は学校や保育園・幼稚園等の保護者会やPTAの会合など（71.5%）が多く、低年齢層の子供の保護者はテレビや本・パンフレットなど（58.8%）が多い。

保護者のインターネットに関する啓発や学習の経験  
（学校種別 / 平成30年度）



○啓発や学習を受けた機会

(単位：%)

	保護者会やPTAの会合など	学校や保育園・幼稚園等から配布された啓発資料など	学校や保育園・幼稚園等から行う講座	国・地方公共団体や民間団体が	病院(産科・小児科等)	機器の購入時の販売員	機器の購入時の資料	友人	保護者同士の会話	テレビや本・パンフレットなど	インターネット	保護者自身が生徒・学生の時に、学校等で説明を受けた	その他
青少年の保護者													
総数 (n=2636)	71.5	52.0	3.6	0.4	11.0	10.2	8.7	26.0	40.2	20.9	8.3	1.6	
小・保 (n=728)	64.8	49.3	3.7	1.0	7.0	9.9	11.0	30.2	44.2	26.0	8.1	1.2	
中・保 (n=1040)	73.5	52.3	3.9	0.3	9.8	10.4	8.8	26.2	39.3	21.7	8.4	2.2	
高・保 (n=859)	74.9	53.7	3.1	0.1	15.8	10.2	6.8	22.2	37.8	15.6	8.3	1.3	
低年齢層の子供の保護者 (n=1332)	36.9	32.5	2.6	2.5	4.0	5.9	11.7	22.0	58.8	33.6	11.7	4.4	

(注) 「保護者のインターネットに関する啓発や学習の経験」は、回答した青少年の保護者及び低年齢層の子供の保護者全員をベースに集計。

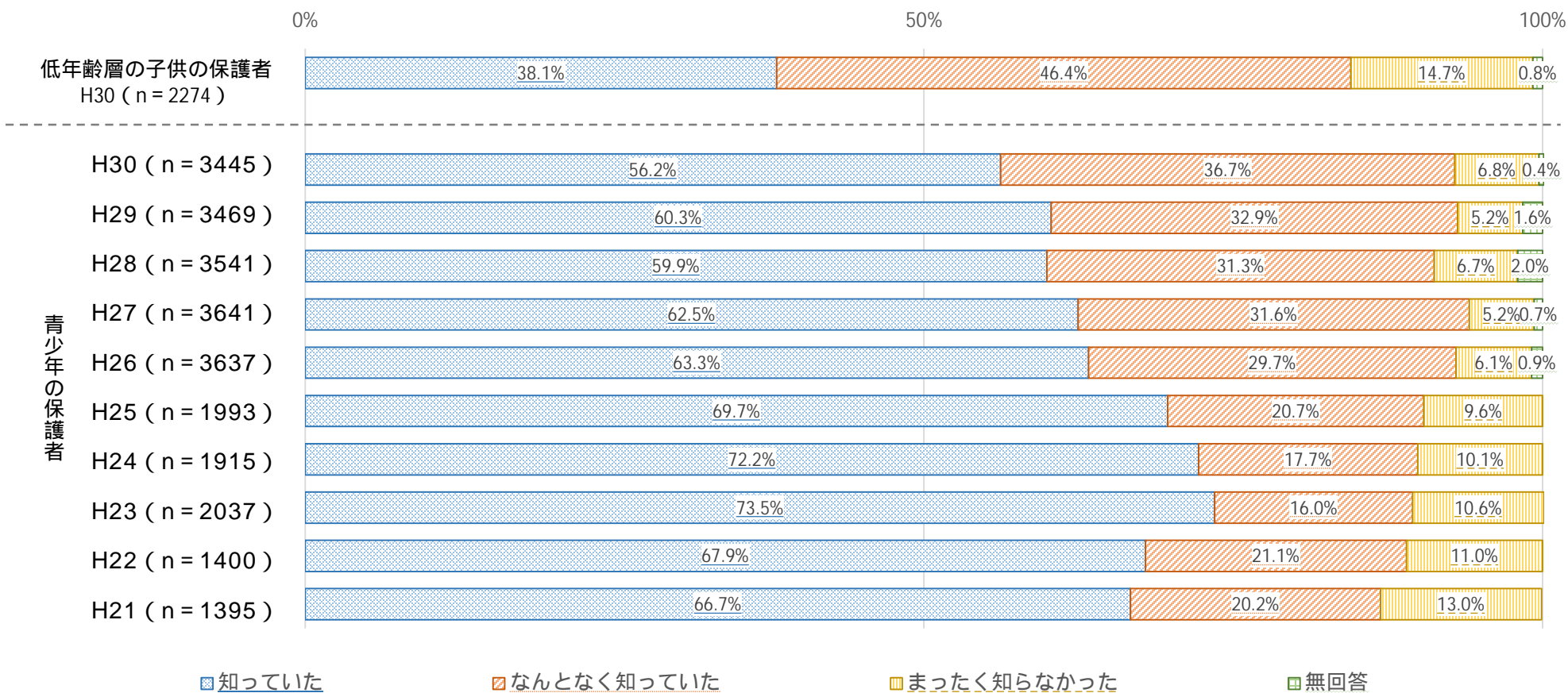
(青少年の保護者 Q10-1、10-2) (低年齢層の子供の保護者 Q15-1、Q15-2)



# 概要19 フィルタリングの認知（保護者）

青少年の保護者のフィルタリングの認知は「知っていた」が56.2%であり、平成29年度と比較し、減少傾向。低年齢層の子供の保護者のフィルタリングの認知は、「知っていた」が38.1%。

### フィルタリングの認知



(注) 「フィルタリングの認知」は、回答した青少年の保護者及び低年齢層の子供の保護者全員をベースに集計。